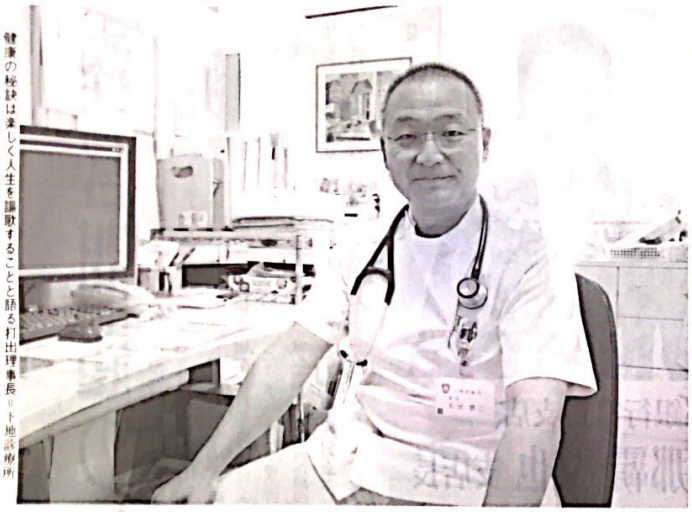
地域社会に貢献する

医療法人下地診療所

打出啓二 理事長



健康の秘訣は楽しく人生を謳歌することと語る打出理事長＝下地診療所

2008年4月に下地上地に診療所を開院し、今年で14年目を迎える「下地診療所」は地域に親しまれる診療所として訪れる住民を笑顔で迎える。地域のニーズに合わせ、提供する医療や介護サービスの拡充を図る同院の理念と今後の展開について打出啓二理事長に伺った。

―地域社会に貢献する

地域社会に貢献することが最大の目的であり、基本理念にも掲げていると話す打出理事長。診察室の見える位置の理念には「地域のニーズと期待に応え、関わる全ての人々が健康で豊かな生活ができるよう、医療・介護サービスを通して地域社会に貢献する」と書いた紙を貼る。「常に理念を忘れないために目に入る場所に貼っている」と表情を崩す。

新型コロナウイルスの影響により2021年は振り回されるような1年であったという間に過ぎてしまった

と語る。それぞれ大きな理乱もなく診療所を運営できているのは「目の前にいるなどさまざまな診療科目をはじめ、リハビリテーション患者さんの辛さやきつさ、悩みを解決することが最優先だから」と語る。緊急事態宣言が解除となったことにより少しずつだが訪れるが、患者も平穏を取り戻しているという。新型コロナは来院する。

―職員のために動くことも「人材育成」

同診療所では内科や外科や訪問診療、病児保育センターなどを併設し、下地診療所グループや連携企業の職員の子どもを優先的に受け入れている。

職員のために動くことも「人材育成」だという。働く側の立場になって考える

―地域社会に貢献する

地域社会に貢献することが最大の目的であり、基本理念にも掲げていると話す打出理事長。診察室の見える位置の理念には「地域のニーズと期待に応え、関わる全ての人々が健康で豊かな生活ができるよう、医療・介護サービスを通して地域社会に貢献する」と書いた紙を貼る。「常に理念を忘れないために目に入る場所に貼っている」と表情を崩す。

新型コロナウイルスの影響により2021年は振り回されるような1年であったという間に過ぎてしまった

と語る。それぞれ大きな理乱もなく診療所を運営できているのは「目の前にいるなどさまざまな診療科目をはじめ、リハビリテーション患者さんの辛さやきつさ、悩みを解決することが最優先だから」と語る。緊急事態宣言が解除となったことにより少しずつだが訪れるが、患者も平穏を取り戻しているという。新型コロナは来院する。

20年には市で待機児童が多く、働きたくても働けない親が多いということを知り、同診療所の隣に企業主導型保育園「たけあら保育園」を開設。この保育園を開いたきっかけは働いている職員からだという。復職したいが預けられる場所がないという職員の声に応える形で開園し、下地診療所グループや連携企業の職員の子どもを優先的に受け入れている。

職員のために動くことも「人材育成」だという。働く側の立場になって考える

の根幹にあるのは「地域社会に貢献する」という理念話す。「家庭がある職員は仕事と家庭の両立が必要になる。働きやすい環境を整備することはその職員でなく、家族の幸せにもつながり、地域への貢献にもなる」と語った。

―2022年の抱負

打出理事長の抱負は変わらない、理念が抱負であり、理念に基づき行動することを毎年心掛けていることだという。医療や介護サービスを必要としている人に届けることが、地域社会の貢献となり関わる全ての人が健康で豊かな生活ができるようにサポートすることになる。打出理事長は「関わる人に人生を楽しく謳歌してほしい」と話し、「そのためにも理念を見える位置に貼り、常に心掛けている」と語った。

医療・介護サービスを拡充

住みなれた家で健康的に暮らす

機能特化型 リハビリセンター「アルクラ」

平良久貝にあるアルクラ＝同センター提供

フィットネスエリア

高齢者向けに開設した機能特化型リハビリセンター「アルクラ」はいつまでも歩き続けたいという高齢者の思いに応える施設。

「歩ける」と「暮らせる」を見し名付けた施設の名称にはいつまでも自分のとりに合わせたパーソナル足で長く美しく歩き続け、住みなれた家で健康的にて、サービスを提供する。

施設長の長濱裕樹さん（作業療法士）は、歩行は全身運動、筋肉や関節、制御する神経、持久力などすべての機能が正常に動作して歩行となる。アルクラでは歩行の改善にこだわっている」と話し、「歩行に不安がある方は相談して欲しい」と呼び掛けた。

利用は要介護認定または要支援認定、総合事業対象の方に限る。病院での機能リハビリとの併用も可能。

施設は歩行リハビリと暮らし続けてほしいとの思いがこめられている。

フィットネス、カフェエリアに分けられ、トレーニングの合間には休憩もとれる。リハビリ専門のスタッフが常駐し、一人一人はメ別記示、総合事業対象の方に限る。病院での機能リハビリとの併用も可能。

利用は要介護認定または要支援認定、総合事業対象の方に限る。病院での機能リハビリとの併用も可能。

時間は午前8時～午後4時30分まで（12時10分～午後1時30分まで）。日休日・祝祭日はお休み。

自理動、筋肉や関節、制御する神経、持久力などすべての機能が正常に動作して歩行となる。アルクラでは歩行の改善にこだわっている」と話し、「歩行に不安がある方は相談して欲しい」と呼び掛けた